

令和 7 年 2 月 12 日

「むらの大学 I・II」学生による 住民インタビュー冊子とアーカイブ

福島大学全学類の 1 年生を対象とする授業「むらの大学 I・II」では、原発事故によって避難を余儀なくされた地域にて「住民の方へのインタビューとアーカイブ化」をテーマとしたフィールドワークを実施しています。これまでの 3 地域（川内村、南相馬市小高区、大熊町）に、今年度からは飯舘村を加えた全 4 地域を対象に、インタビューをまとめた小冊子と Web アーカイブの作成に取り組みました。

■授業「むらの大学 I（前期）」「むらの大学 II（後期）」

- ・福島大学全学類の 1 年生を対象とする基盤教育科目（いわゆる一般教養）。今年度は全 5 学類から、前期 191 名、後期 49 名が受講。
- ・これまで後期のみ実施してきた「むらの大学」を、今年度から前期「むらの大学 I」、後期「むらの大学 II」とし、通年のフィールドワーク学修として展開。
- ・さらに今年度から、活動地域に飯舘村を加え 4 地域とした。
- ・「むらの大学 II（後期）」では、学生が 4 地域に分かれ、4 名程度で 1 人の方へのインタビューを実施。インタビュー、原稿の整理、ご本人への確認と修正などをすべて学生が行った。

■冊子「学生が聞いた〇〇」

- ・インタビューの一部を抜粋した冊子を作成。1 月末に完成し、インタビュー協力者に贈呈のほか、地域での配布を開始した。
「学生が聞いた川内・大熊」11 名へのインタビュー収録、全 16 頁。2000 部発行。
「学生が聞いた飯舘・小高」10 名へのインタビュー収録、全 20 頁。2000 部発行。

■Web アーカイブ

- ・インタビュー全文はご本人の確認を経て、福島大学「地域×データ」実践教育推進室の Web ページに PDF で順次公開している。
<https://region-data.net.fukushima-u.ac.jp/archive/>

★本小冊子は（（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構の「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」の成果物です。記事化の際にはできる限り、同事業名をご紹介頂ければ幸いです。

（お問い合わせ先）
「地域×データ」実践教育推進室
電話：024-503-2014
メール：miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp

第192回定例記者会見

「むらの大学」学生による 住民インタビュー冊子とアーカイブについて

令和7年2月12日

「地域×データ」実践教育推進室

特任助教 久保田彩乃

「むらの大学」

- ◆全学類の1年生対象
- ◆川内村・大熊町・南相馬市小高区・飯舘村の4地域に分かれ
通年の現地フィールドワークによって地域を学ぶ授業
※飯舘村は今年度から追加
- ◆**地域住民へのインタビューとそのアーカイブ化**

震災から14年 記憶のない世代の増加

「伝承なき復興」への危機感

個人の語りからアーカイブ化の意義を捉える

むらの大学（1年生）

◆授業概要

- ・全学類から1年生が受講（選択科目）
- ・前期「むらの大学Ⅰ」、後期「むらの大学Ⅱ」（今年度より）
前期 191名、後期49名が受講



むらの大学 I (1年・前期)

- ◆1年生191名が受講
- ◆大学での座学+日帰りフィールドワークで震災・原発事故後の地域の様子とアーカイブ化の意義について学ぶ



むらの大学Ⅱ（1年・後期）

- 1年生49名が受講
（川内：12名、大熊13名：、小高：12名、飯舘：12名）
- 現地へのフィールドワークと住民の方へのインタビューを実施。
アーカイブ冊子を作成。
- 授業形式
上記班内でさらに4名前後の小グループに分かれ、1名の住民に対しインタビューを実施。その後の原稿編集・整理・確認作業等も教員の指導の下に学生がすべて行う。

むらの大学Ⅱ（1年・後期）

4-8月



むらの大学Ⅰ

10月



編集作業

11-1月



編集作業

9-10月



インタビュー

11-12月



確認と追加取材

1月



冊子「学生が聞いた〇〇」



- ・飯館、小高
11名へのインタビュー収録、全16頁
- ・川内、大熊
10名へのインタビュー収録、全20頁

(※各2000部発行、関係者・関係機関等に順次配布)

「全文インタビュー」



QRコードから、福島大学「地域×データ」ホームページ内「アーカイブ」→「全文インタビュー」を順次公開
<https://region-data.net.fukushima-u.ac.jp/archive/>

学生報告

◆飯舘班（「学生が聞いた飯舘・小高」を担当）

食農学類1年 畠山公
渡辺瑠奈